

### 我が家のアイドル募集

- 締切 1歳の誕生日まで
  - 申し込みに必要なもの
    - ①お子さんの写真(郵送・持参:裏面に記名、メール:5MB以内)
    - ※頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるもの
    - ②お子さんの名前・性別・誕生日、住所、電話番号、保護者氏名
  - 申込方法 郵送・メール・広報広聴係(市役所本館3階)へ直接持参
- 〒322-8601 今宮町 1688-1  
 広報広聴係「我が家のアイドル係」  
 メール koho@city.kanuma.lg.jp  
 右のQRコードからもメール送信可能



1歳を迎えたお子さんを紹介します。  
※12月11日～1月24日生掲載



西茂呂 4丁目  
梅野 鈴ちゃん  
(R1.12.11 生)



千渡  
根本 梓帆ちゃん  
(R1.12.12 生)



千渡  
藍葉 大翔くん  
(R1.12.13 生)



酒野谷  
高山 幸太郎くん  
(R1.12.17 生)



玉田町  
高橋 宇未ちゃん  
(R1.12.18 生)



縦山町  
伊藤 太陽くん  
(R1.12.24 生)



栄町 3丁目  
星野 柚愛ちゃん  
(R1.12.24 生)



下沢  
渡邊 和希くん  
(R2.1.4 生)



千渡  
益子 愛林ちゃん  
(R2.1.6 生)



千渡  
松井 陽向くん  
(R2.1.8 生)



千渡  
舟岡 茉南ちゃん  
(R2.1.15 生)



みなみ町  
高村 楓くん  
(R2.1.16 生)



緑町 1丁目  
手塚 優葵ちゃん  
(R2.1.17 生)



上殿町  
手塚 結護くん  
(R2.1.21 生)



緑町 3丁目  
弓野 真緒ちゃん  
(R2.1.24 生)

# ステキな人発見!

有限会社 天狗屋  
のぶひろ  
**石原 照大さん** (32歳・草久)

プロフィール  
趣味…読書・音楽  
好きな食べ物…お肉



1300年の歴史を誇る古峯神社の門前。歴史を感じる店構えの天狗屋店内で、ヒップホップのリズムに合わせて、そばを打つのが石原さんです。

生まれ故郷のこの店に戻ってきたのは5年前。地元のお客様を大切に、そして参拝者の皆さんに少しでも満足して帰ってもらいたいと、お土産やお饅頭の販売に加えて、こだわりの手打ちそばの提供を始めました。また、手作り弁当の配達もしているとのこと。

SNSによる情報発信にも力を入れており「古峯ヶ原の魅力を知ってもらい、多くのお客様にこの地に来てほしい。ここを訪れた人の心が豊かになって、それが広がることでみんなが笑顔になってもらいたい」と語ってくれました。「歴史を大事にしながらも、新しい価値を創造して、魅力を発信したい」と石原さん。故郷の自然を生かした企画の数々を構想中だそうです。

これからも、ますます古峯ヶ原を、そして鹿沼を盛り上げていってくださいな。

## ぶんげい

名前(ふりがな)・住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着分)です。  
〒322-8601 今宮町1688-1  
メール koho@city.kanumata.jp  
広報広聴係(応募部門を明記)

### 市民俳壇

山門の鬼と見上げる桜かな

下材木町

中島 克敏

せせらぎに時を忘れる摘み菜かな

中栗野

大塚 初江

古寺巡り俳句茶屋にて心天

楡木町

上野佐喜子

ゆつくりと嫁の七草がゆ食す

上野町

楡木 和子

野仏の頭に止まる赤とんぼ

府所町

菊地 十造

花一枝活けて茶室に友を待つ

戸張町

柿沼しげ子

園児らの「さくらさくら」は弾みけり

引田

斎藤 良明

梅真白三月不在の母帰る

万町

海原ゆう子

### 市民歌壇

催花雨は自然の恵みはやばやと小倉川堤の春が膨らむ

縦山町

島田 栄一

日溜りに三密知らず肩寄せて家族のように福寿草咲く

下武子町

広田 順一

### 小林 夏江選





▲築90年になる木造家屋をリノベーション。元の梁や柱を生かした落ち着いた雰囲気店内。2階席もあります。



鹿沼に魅せられ、移住された皆さんを紹介します。

**酒場食堂**  
イナリノトナリ

住所 上材木町17283  
営業時間 午前11時～午後2時  
(ランチ、  
午後6時～10時  
(居酒屋メニュー)。  
土日定休。



▲ランチメニューのハンバーグ。ソースとグラム数を選べます。



英光さん (45歳・上材木町)

令和2年12月に「鹿沼版地域おこし協力隊」に就任。令和2年3月に「酒場食堂イナリノトナリ」をオープンし、地元産食材を使ったメニューで集客に取り組む。

瀧口さんは、宇都宮市出身。調理師専門学校を卒業後、都内や地元宇都宮でのレストラン勤務等を経て、1年程前からは、日光市内の飲食店で店長を務めていました。

独立を考え始めていたところ、知人から現在の物件を紹介され、今年3月下旬に「イナリノトナリ」をオープン。その名の通り稲荷神社が建つ路地の片隅にのれんを掲げました。

気負わずふらりと立ち寄りたくなるような雰囲気を持ち味の「酒場食堂」。「鹿沼産の野菜などを使ったメニューを充実させ、地域に密着したお店にしていきたい」と瀧口さんは思いを語りました。

市民川柳

白石 洋 選

久々に夫は昔の修行場に行きて生き生き思い出語る  
御成橋町一丁目 秋澤 和子

虹色に光り輝くシャボン玉孫の歓声さ庭にひびく  
上殿町 山野 幸子

露の臺三寒四温に戸惑うか土の中より様子窺う  
西沢町 安達 和子

戻り来し強き冷気に福寿草花びらを閉じ陽射し待  
ちおり 日吉町 小川 豊治

わが庭に見上ぐる宇宙ステイション病む身の希望  
の光なるべし 上野町 榎木 和子

緊急に入院する母しみじみと我的手をとり労いく  
れし 西沢町 竹沢 敏子

マスクして今日もリハビリ頑張ろう  
西茂呂 円山ミツ子

鶏なら処分をすれば済むけれど  
睦町 高村 光夫

田起こしのあとを小鳥が虫探し  
塩山町 森野 静雄

二月尽家計簿黒字寿司食うべえ  
上野町 竹澤 光子

どの墓も花に埋もれて春彼岸  
下奈良部町 小野口 博

今朝もまた「おちよやん」箸の手を止める  
御成橋町一丁目 長谷川 侃子

失言が女性の地位を押し上げる  
上野町 高橋 正光

接待劇昔代官今キャリア  
酒野谷 杉山 進